

それから王はしもべたちに言った。「披露宴の用意はできているが、招待した人たちはふさわしくなかった。だから大通りに行って、出会った人たちをみな披露宴に招きなさい。」しもべたちは通りに出て行って、良い人でも悪い人でも出会った人をみな集めたので、披露宴は客でいっぱいになった。

マタイの福音書 22 章 8 ～ 10 節

マタイ 22 章 1 ～ 14 節には、王が息子の結婚披露宴に人々を招待した、というたとえ話が書かれています。このたとえが問うていることは、「あなたは神の招きになんと応えるか?」ということです。

人間は、神との人格的な交流に生きるものとして造られました。神は人に呼びかけ、

ご自身のもとへと招いておられます。アダム、アブラハム、モーセ、サムエルと…、神がまず人を呼び、そして人が応答するのを待つのです。それは特別な聖徒にだけ限ったことではありません。黙示録 3:20 「わた

しは戸の外に立ってたたいています。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする」とある通り、神は「だれでも」＝「すべての人」に呼びかけ招いているのです(マタイ 22:9、10)。

その招きに応答する人が、神の国に入ります。その人の功績や善行ではありません。 「良い人でも悪い人でも」(10)導かれています。つまりそれは「恵み」です。人間の側に資格があるわけではありません。必

要なのは「神の恵みを受け取る」ことです。

「婚礼の礼服」(11)はそれを表します。

古代社会では、客をもてなすということで王が客のために着物を用意しました。神は私たちを神の国に招くために、キリストの十字架による衣を用意しました(「キリストを着る」ガラテヤ 3:27)。私たちはただキリストの十字架と復活の恵みによって救われます。その救いを得た人は、神の愛の招きに応えようとする誠意が求められます。「婚礼の礼服を着ていない」(11)とは、キリストに頼るのでなく自分の力を頼みとすることです。また、神の栄光を求めず自分を誇ることで、それは神の招きを無視することです。

日々の生活でキリストに頼るとはどのようなことでしょうか? 神の呼びかけに応え続ける私たちでありたいと願います。(泰)

【新型コロナウイルスについて】

① 礼拝式について

第1礼拝 9 時／第2礼拝 11 時

*オンラインを使用できる方は
そちらをご利用ください。

礼拝映像のネット配信は9時から

(第1礼拝を配信します)

*礼拝堂での出席を希望される方は、事前の申し込みをお願い致します。

② 小学科ホザナ礼拝について

時間 10 時 15 分より

形式 オンライン (zoom)

zoomのID等はスタッフに問い合わせてください

③ お問い合わせ

新年度準備などで各部・各会で集まりたい時期ですが、延期できるものはなるべく日を変えてください。教会で過ごす場合には一部屋に集まる人数を減らすようにお願い致します。